

# 初風 緑さん

Midori Hatsukaze

女優

1967年、東京都生まれ。本名は中垣内恭子。実践女子学園高校卒業後の86年、宝塚音楽学校入学。宝塚歌劇団では男役スターを務め、2005年に退団。現在、女優活動の傍ら、同劇団志望者や3歳児から80代の女性のためのスタジオを主宰



## 学園で学ぶ誇りと「心」 伝えていきたい

実践女子学園の校祖、下田歌子先生は女性  
が活躍する時代を見据えた教育を目指してい  
ました。私の祖父は明治生まれの弁護士で、  
そんな先生を尊敬し、私も自然な流れで中学  
高校で実践にお世話になることになりました。  
タカラヅカとの出会いは高校3年の春。  
友人に誘われ、実践の先輩である後の月組  
トップスター、真琴つばささんの舞台を観  
たのがきっかけです。すっかり魅せられ、「タ  
カラジェンヌになりたい」と宝塚歌劇団や  
宝塚音楽学校のことを調べ、歌やダンスの  
レッスンを受けられる教室を探しました。  
実は私の叔母もタカラジェンヌ。父はそうし

たことを知られまいと思っていたのか、詳し  
い話をしたことがあります。ですから、意  
を決して宝塚音楽学校への進学を相談すると、  
下を向いて黙ってしまいました。いつもは威  
厳に満ちた父の、そんな姿に驚きましたが、「君  
がやりたいことをとことんやってみなさい」  
と認めてくれました。タカラヅカは礼儀やあ  
いさつなどに厳しいところでしたが、それは  
実践も同じ。違和感はありませんでした。  
2年前から母校の講師に迎えられ、この学  
園で学ぶことの誇りなど、先輩の一人として  
受け継がれてきた「心」を後輩たちに伝えた  
いと思っています。



学園創立120周年を見据えた音楽劇「ことほぎ〜見目麗しき花の如く〜」の上演を目指し、中高生を指導する初風さん。同劇は2月18日に校内向けに公開される



男女共同参画推進担当理事  
人間社会学部長  
広井多鶴子教授

本学園は「マナーの実践」と言われますが、とりわけ中学  
高校はマナーと感性の教育を大切に、堅実で品格のある女  
性の育成をめざしています。かといって、堅苦しくて古くさ  
い学校ではありません。生徒一人ひとりが自分の可能性を広  
げ、社会の中で生き抜く力を身につけることが建学以来の教  
育方針です。だからこそ初風緑さんのように、自由に自分の  
人生を切り拓く女性为数多く巣立っているのだと思います。